

ブロック名：循環器(ブロック④)

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
6.26	火	I	肺塞栓と肺高血圧	田邊 康宏	循環器内科	1.肺塞栓症の原因、症候、病態、診断、治療について説明できる。 2.肺塞栓症の予防法について説明できる。 3.肺高血圧症の原因、診断基準、治療法、予後について説明できる。	事前配布するプリントに目を通し予習をしてくること。
"	"	II	心臓リハビリテーション	長田 尚彦	循環器内科	1.心臓リハビリテーションの適応疾患について説明できる。 2.リハビリテーションプログラムの種類と実践について説明できる。 3.リハビリテーションで行う運動の種類と運動強度について説明できる。	"
"	"	III	心血管系の発生	平田 和明	人体構造	1.心臓の発生の概略を説明できる。 2.心房中隔と心室中隔の形成について説明できる。 3.動脈管円錐中隔の形成、大動脈弓などの形成について説明できる。	"
6.27	水	I	先天性心疾患の特性	村野 浩太郎 (非)	小児科学	1.先天性心疾患の発生頻度、性差を説明できる。 2.染色体異常、遺伝子異常の症候群と合併心奇形を説明できる。 3.代表的な症候、症状の機序を理解する。	"
"	"	II	先天性心疾患の検査所見	"	"	1.小児の心電図検査の特徴的所見を説明できる。 2.先天性心疾患の胸部X線検査の意義と特徴的所見を説明できる。 3. Qp/Qs, 短絡率を説明できる。	"
"	"	III	基本的な先天性心疾患 1	水野 将徳	小児科	1.心室中隔欠損症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。 2.心房中隔欠損症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。 3.動脈管閉存症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。	"
6.28	木	I	基本的な先天性心疾患 2	麻生 健太郎	小児科	1.ファロー四徴症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。 2.心内膜床欠損症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。 3.大血管転位症の頻度、分類、臨床検査所見、管理、予後などを理解する。	"
"	"	II	複雑な先天性心疾患 1	"	"	1.危急的な先天性心疾患の救命方法を理解する。 2.無脾症候群、多脾症候群の概念を理解する。 3. Fontan循環を理解する。	"
"	"	III	複雑な先天性心疾患 2	"	"	1.総肺静脈環流異常症の血行動態を説明できる。 2.左心低形成症候群の血行動態を理解する。 3. Eisenmenger症候群の概念を理解する。	"
6.29	金	I	大血管・末梢血管の外科治療	小林 俊也	心臓血管外科	1.大動脈疾患の外科治療と補助手段を説明できる。 2.大動脈解離の病態と診断・治療を説明できる。 3.急性および慢性動脈閉塞症の病態・症状・所見・外科治療、下肢静脈瘤と深部静脈血栓症の診断・合併症および外科治療について説明できる。	"
"	"	II	小児心臓血管手術	近田 正英	心臓血管外科	1.心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜床欠損症の病態、手術適応、術式について説明できる。 2.ファロー四徴症の病態と姑息手術、根治手術を説明できる。 3.大血管転位症の分類による治療方針と姑息手術および根治手術を説明できる。	"
"	"	III	脈管疾患の外科治療 (ステントグラフトなど)	西巻 博	心臓血管外科	1.大動脈炎症候群の病態と治療法を説明できる。 2.静脈血栓症の原因と続発疾患について説明できる。 3.大動脈ステントグラフト内挿術の基本的事項について習得する。	"